

北薩の輝き

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

当たり前

北薩教育事務所 管理課長 加治佐 賢

学校においては、新型コロナウイルス感染防止のため、授業や日常生活、各種行事の在り方等について、検討・判断を続けなければならない状況が続いている。甲子園、オリンピック、パラリンピックが開催される中、感染状況により様々な大会やイベントが中止され、寂しさや悲しさ、悔しさを味わった児童・生徒も多数いるだろう。この時期、学校や地域で実施する芋掘りや稲刈りなどの体験型学習の報道も少なくなっている気がする。

そんな時、県外の学校で吹奏楽部に所属している中学3年生の作文を読み、考えさせられた。3か月間の休校となり、部員全員が集まっての部活動停止、コンクール・文化祭の中止など集大成のイベントがなくなった。悔しさや悲しみの中、学校が再開し、その1週間後部活動も再開した。まだ部活動ができない学校もあり、活動できるのは、部員一人一人の感染症対策、顧問の先生や家族をはじめ様々な人のおかげだという内容である。そして最後には、今まで当たり前と思っていたことは当たり前でなく、コロナの状況が収まっても「当たり前」への感謝の気持ちを忘れず過ごしていきたいとあった。

大人も子供も、これまでと違った生活のリズムができつつあると思う。ゲームやスマホの長時間化や運動不足などの課題が見えてきたり、読書や家庭学習、家の手伝いを進んで行ったりする子供がいると思う。これからの学校行事や地域行事、県外旅行や多人数での会食が、制限なしで実施できる日がいつになるのか不透明であるが、決められたルールの中でコロナ禍前の状況に近づくことを願っている。

令和3年度も折り返しに入った。当たり前でない世の中でも、めざす学校像、めざす児童・生徒像、めざす教師像に向け、取り組んでほしい。

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果

小学校（6年）	国語	算数	中学校（3年）	国語	数学
全国平均正答率	64.7	70.2	全国平均正答率	64.6	57.2
県平均正答率	67	71	県平均正答率	64	56
北薩地区平均正答率	67	71	北薩地区平均正答率	63	55
全国正答率との差	+2.3	+0.8	全国正答率との差	-1.6	-2.2

【児童生徒質問紙の結果から】※ 当てはまる、どちらかと言えば当てはまるの割合

	小学校（6年）			中学校（3年）		
	全国	地区	差	全国	地区	差
国語の勉強は好きですか	58.4	50.0	-8.4	60.8	53.3	-7.5
算数・数学の勉強は好きですか	67.8	69.3	+1.5	59.1	54.5	-4.6
英語の勉強は好きですか	68.2	64.3	-3.9	56.7	54.4	-2.3

本地区の学力の概況は上記のとおりです。小学校は、国語、算数共に全国の平均を上回っており、学校の取組の成果が結果に表れています。中学校においては、国語、数学共に全国平均を下回っていますが、平成31年度の結果と比べると、全国との差が縮まっています。

児童生徒質問紙の結果から、「国語、数学、英語の勉強が好き」と答えた児童生徒が、全国と比べると低いことが分かります。興味・関心を高め、「分かった できた」を実感させる授業づくりを、各学校で更に進めていく必要があります。基礎・基本の確実な定着を図り、思考・表現の問題にも計画的に取り組むことで、北薩地区の児童生徒に確かな学力の定着を図っていきましょう。

